



県政報告 県政を身近に

令和3年
2021
春季号
Vol.39

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

先の2月定例県議会において、令和3年度県予算が成立しました。新型コロナウイルス対策1,100億円はじめ、デジタルトランスフォーメーションへの対応など新規事業が盛り込まれました。また、飲食店等への営業時間の短縮要請の延長や国の予備費予算対応を踏まえて、新型コロナウイルス対策として、令和3年度追加補正予算195億2千万円が承認されました。

私は、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長に就任いたしました。コロナ対応はもとより様々な分野において県政の進展のために尽力してまいります。

自民党県議団 新たに2つのプロジェクトチーム立ち上げ

①引きこもり自立支援PT

引きこもり状態の人は全国で100万人以上いると言われています。引きこもりからの自立支援団体や施設はありますが、設置基準や運営の在り方は各施設に任されているため、様々な問題が生じています。そこで、支援施設や団体などにおける運営基準の明確化など県の支援の在り方について、プロジェクトチームで検討します。

②県産木材の利用促進PT

森林は、土砂災害の防止、水源のかん養、地球温暖化防止などの多面的機能を有しています。本県の森林については、戦後に植林を進めた人工林は約8割が木材として利用可能な林齢に達している一方、木材価格の低迷などにより利用が進んでいないのが現状です。そこで、山間地域のみならず都市地域を含めた県全体で本県木材の利用を促進するため、条例化をめざしてプロジェクトチームを立ち上げました。

「建設業関連」の持続的発展をめざして 自民党県議団 要望書を知事に提出

自民党議員団のプロジェクトチームで調査・検討していた建設業関連事業者の持続的発展のための対策について、次の点を県に要望しました。

- 1.最低制限価格を更に引き上げること
- 2.(1)積極的に分離・分割発注を行うこと
(2)入札参加条件においてJV工事の構成員である県内企業の実績も評価すること
- 3.以上の取組を県内市町村へ周知徹底すること

令和3年2月定例県議会 (令和3年2月19日～3月26日)

初の2兆円を超える新年度予算決まる

一般会計 2兆1,198億4,300万円(前年度比 8.1%増)

令和3年度一般会計予算は、新型コロナウイルス感染症対策の推進や市町村介護保険財政支援事業などの補助費(31%増)が大幅に増えたため、前年度比8.1%増という過去最大規模の伸び率となりました。

また、当初予算と同時に令和2年度補正予算として、国の総合経済対策に対応した公共事業の追加や、高校生がいる生活困窮世帯への給付金の増額支給など444億2,360万円が承認されました。

当初予算のポイント

1 県税収入が4年ぶりに減少

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人県民税や法人二税(県民税、事業税16.7%減)などが減少する見込みです。県税収入が減少するのは4年ぶりです。

2 公共事業費13か月予算で増加

当初予算の公共事業費は、前年度比で3.4%減となりますが、国の「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく2月補正予算と合わせた13か月予算では、前年度比19.5%増となりました。

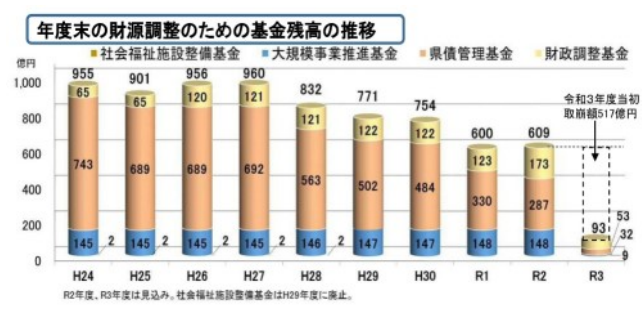
3 県債発行額、伸び率 過去10年で最大

発行額は1,101億円(前年度比52.5%増)で、4年ぶり増加に転じました。県債は、臨時財

政対策債のほか国の防災対策などの公共事業や、児童相談所、特別支援学校の設置など、緊急性、必要性の高い事業の財源に使われます。

4 3基金からの取り崩し増加

財源の確保のために、3基金から対前年度80億円増の517億円を取り崩すこととしました。これにより令和2年2月末に609億円あった基金残高が、来年度末には約93億円になる見込みで、厳しい状況にあります。



全国初「エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が成立

この条例案は自民党議員団が提案したもので、全国初の条例となります。条例提案の背景には、エスカレーターでの転倒や他の利用者との接触による事故が相次いでいることです。左右どちらかに寄り、空いた片側から追いつくことが習慣になっているため、お年寄りや体の不自由な人、子供連れの人などは、安全にエスカレーターを利用できない状況です。そもそも、エスカレーターは立ち止まって利用することを前提に設計されています。(参照：一般社団法人日本エレベーター協会ホームページ <https://www.n-elekyo.or.jp>)

用の動きが全国に広がることを期待します。



朝の通勤時の駅の様子

この条例では、利用者に対し歩いたり走ったりせず止まった状態で乗る努力義務を課すとともに、事業者に周知徹底の義務を要請し、県から事業者への指導、助言、勧告を行うことができます。罰則は規定されていません。半年間の周知期間を経て、10月1日から施行されます。これを契機に、エスカレーターの安全利

一般質問に「一問一答方式」を導入



2月定例会から、議員が執行部と対面して一般質問を行う方式が選べるようになりました。

令和3年度 県関連の主な地元公共事業 (予算額1千万円以上の事業)

3町(毛呂山町、越生町、鳩山町)における県土整備事務所の当初予算は、河川の強靱化や道路の拡幅工事などの事業を進めるため、総額8億7千万円、前年度比37%増となりました。2月補正予算を含めた13か月予算では、総額10億8,500万円となります。



11 15 越生大橋(飯能寄居線バイパス)



16 柳田川宮付橋付近



2月補正予算(社会資本整備総合交付金)事業

- ① 毛呂山町: 越辺川(苦林地内)樹木伐採・河道掘削、測量設計
- ② 越生町: 県道越生長沢線(黒山地区内) 用地・補償
- ③ 鳩山町: 鳩川(熊井地区内)河床低下対策工事

- ### 毛呂山町
- ① 県道川越坂戸毛呂山線(岩井西、毛呂本郷地区内)旧道移管のための境界確定委託 L=820m
 - ② 県道飯能寄居線(毛呂本郷地区内)側溝蓋改修 L=100m
 - ③ 県道岩殿岩井線(西戸地区内)舗装修繕 L=330m
 - ④ 県道川越越生線(西大久保地区内)舗装修繕 L=350m
 - ⑤ 毛呂川(平山地区内)測量設計委託
 - ⑥ 葛川(西大久保地区内)護岸工 L=100m
 - ⑦ 大谷木川(長瀬地区内)測量設計、護岸工
 - ⑧ 越辺川(苦林地内)測量設計、用地買収、築堤工 L=280m
 - ⑨ 大谷木川(前久保南地区内)河川管理施設修繕
 - ⑩ 越辺川(前久保地区内)河川監視施設修繕

- ### 越生町
- ⑪ 越生大橋(県道飯能寄居線)耐震工事
 - ⑫ 県道越生長沢線(黒山地区内) L=300m 物件調査委託
 - ⑬ 県道越生長沢線(黒山地区内) L=300m 用地・補償
 - ⑭ 県道飯能寄居線(成瀬地区内) L=460m 舗装修繕
 - ⑮ 越生大橋(県道飯能寄居線)橋梁塗替
 - ⑯ 宮付橋(柳田川)橋梁架換工事
 - ⑰ 越辺川(津久根地区内)護岸工

- ### 鳩山町
- ⑱ 重郎橋(県道岩殿岩井線)用地買収委託
 - ⑲ 県道ときがわ坂戸線(熊井地区内) L=150m 波打ち改善工事
 - ⑳ 県道岩殿岩井線(赤沼地区内) L=410m 舗装修繕
 - ㉑ 県道東松山越生線(熊井地区内) L=500m 舗装修繕
 - ㉒ 鳩川(重郎橋)河川改修工事のための用地買収



19 ときがわ坂戸線の歩道部分



2 破損した毛呂本郷地区内の側溝蓋



8 越辺川(苦林地内)の河川改修工事を継続



6 葛川(西大久保地区内)上流を望む改修部分



10 越辺川(岡本団地北側)の遊歩道がつながる

★このほか、新規に林道整備(毛呂山町阿諏訪地区内)が、また鎌北湖の緊急耐震化対策事業が継続して行われます。

武内まさふみの活動日誌

■ 県審議会委員として出席

- 国土利用計画審議会(2月8日)
県から諮問された、ふじみ野市内の農業地域18haを縮小する「埼玉県土地利用基本計画の変更(案)」について、審議会として承認しました。
- 環境審議会(2月10日)
県から諮問された、第9次埼玉県廃棄物処理基本計画(案)(R3~R7の5年間)について、審議会として承認

しました。次期計画では、食品ロス対策、プラスチック資源の循環的利用、産廃施設を活用した災害廃棄物の処理など新たな内容が加わります。

■ 外出自粛キャンペーン

県の緊急事態宣言の発令中に、県職員と町職員により、県民の外出自粛を呼びかける街頭活動を行いました。武内県議は東毛呂駅前(1月28日)、川角駅前(2月16日)に参加し、

通勤、通学中の皆さんに呼びかけました。



▲川角駅で乗降客に呼びかける武内県議

オフィシャルサイト(リニューアルオープン)

オフィシャルサイト(ホームページ)をリニューアルしました。スマホや携帯からも、見やすくなりました。下のQRコードから、ホームページに直接つながります。

